

2026年度「海洋問題演習」Sセメスター実施内容

学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養する応用型の教育科目であり、海洋に関わるさまざまな政策課題への総合的なアプローチを具体的課題に即して学ぶことが目的である。海洋に関わるトピックについて、各分野の研究者及び実務経験者から講師を得て、様々な角度からの議論を展開する。ケーススタディーという形を用いることで、専門の違いにとらわれず、問題解決に必要な知見を駆使して、受講者自らが課題解決の方策・政策を立案することを目指す。

S セメスターは、海洋における地球的問題群の解決に向けた取り組みの中から、「持続可能な海事産業の構築を目指して」「海洋再生可能エネルギー」「カーボンクレジット」「マリンバイオセキュリティ」「海洋における食糧安全保障」「世界にコミットする問題発掘とその具体的対応・国際機関との連携」「文化的側面から見た海洋の捉え方」の7つのトピックを取り上げ、それぞれ学内外から第一人者を招聘して講義形式で進め、A セメスターはいくつかにテーマを絞って議論を中心に演習を進める。

■ 文化的側面から見た海洋の捉え方

第 1 回	4 月 13 日	海を文化として読む：三陸沿岸社会の知識・生業・世界観 東京大学大気海洋研究所三陸ふるさと社会協創センター 特任研究員 吉村健司
-------	----------	--

■ 持続可能な海事産業の構築を目指して

第 2 回	4 月 20 日	海洋調査による政策課題解決 海上保安庁 沿岸調査課長 山尾理
-------	----------	-----------------------------------

■ マリンバイオセキュリティ

第 3 回	4 月 27 日	真珠養殖における完成賞の問題について 株式会社ミキモト真珠研究所 橋本直樹 貝類感染症とその防疫について 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 伊藤直樹
第 4 回	5 月 11 日	我が国における水産防疫の制度 農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課 水産安全室長 芳之内一美 水産防疫制度への提言 東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授 良永知義

■ 海洋再生可能エネルギー

第 5 回	5 月 18 日	風力発電事業 サプライチェーンに関する課題と提言 海洋産業タスクフォース運営委員会 委員長 石川寛樹
第 6 回	5 月 25 日	長崎から見る、日本の海と社会課題 長崎海洋アカデミー 副理事長 松尾博志

■ 海洋における食糧安全保障

第 7 回	6 月 1 日	食糧安全保障における水産物需給の課題と展望 ～変化する国際関係、国内人口減少、気候変動の狭間のなかで 一般社団法人全国水産技術協会 会長 和田時夫
第 8 回	6 月 8 日	海洋分析の食糧安全保障 ～水産庁が担う役割と課題の解決に向けた対応 水産庁 青木 友寛

■ カーボンクレジット

第 9 回	6 月 15 日	カーボンニュートラル実現に向けたブルーカーボンの役割と貢献 ジャパンブルーエコミー技術研究組合 理事長 桑江朝比呂
第 10 回	6 月 22 日	～サステナビリティの現在とこれから～ ブルーカービン事業の取り組み 株式会社 BLUABLE 代表取締役 魚谷貴秀 ウミトロンブルーエコノミー事業のご紹介 ウミトロン株式会社 浅野由佳理

■ 世界にコミットする問題発掘とその具体的対応・国際機関との連携

第 11 回	6 月 29 日	総合的沿岸管理から海洋空間計画へ: PEMSEA にみる海洋の持続可能な利用と保全 東海大学 教授 脇田和美様
第 12 回	7 月 6 日	海洋科学に関する国際調整 ーユネスコ政府間海洋学委員会 (IOC) の取組みー 東京大学大気海洋研究所 特任教授 道田豊様